

## 希学園 第404回 小4公開テスト 解説動画

下記、URLよりご視聴いただけます。

動画タイトル	URL
第404回公開テスト 小4算数 解説動画(2026年1月11日実施)	<a href="https://vimeo.com/1153112590/ac380133e7">https://vimeo.com/1153112590/ac380133e7</a>

1

(1)	8 4 8	(2)	1 8 1 6	(3)	1 0 1 5 2	(4)	3 0 0 3 0
(5)	2 0 6 3	(6)	4 . 7	(7)	9 . 9	(8)	$\begin{array}{r} 73 \\ 101 \end{array}$
(9)	2 4 0 1 (kg)	(10)	9 3 4 0 (mm)	(11)	$\textcircled{7}$ 8 (時)		$\textcircled{4}$ 3 8 (分)
(12)	7 0 0 (mL)	(13)	1 3 5	(11)完答)			

2

(1)	6 0 0 円	(2)	1 6 0 0 円	(3)	1 3 0 円
-----	---------	-----	-----------	-----	---------

3

(1)	1 3 番目	(2)	2 7 個	(3)	5 5 番目
-----	--------	-----	-------	-----	--------

4

(1)	8 0 0 円	(2)	2 6 0 0 円	(3)	2 月 1 2 日
-----	---------	-----	-----------	-----	-----------

5

(1)	4 3 mL	(2)	4 7 1 mL	(3)	1 5 1 4 mL
-----	--------	-----	----------	-----	------------

(配点) 各4点×25

1

- (9)  $3\text{ t} - 44\text{kg} - 555000\text{ g}$   
 $= 3000\text{kg} - 44\text{kg} - 555\text{kg} = \underline{2401\text{kg}}$
- (10)  $6\text{ m} + 728\text{cm} - \square\text{ mm} = 3\text{ m}94\text{cm}$   
 $\square\text{ mm} = 6000\text{mm} + 7280\text{mm} - 3940\text{mm}$   
 $= \underline{9340\text{mm}}$
- (11) 50発目を打ち上げるまでにかかる時間は、  
 $2 \times (50 - 1) = 98(\text{分})$   
 午後7時 + 98分 = 午後 8時38分  
 ㊦ ㊧
- (12)  $120 - 2 \times 25 = 70(\text{L}) \rightarrow 700\text{dL}$   
 $700 - 3 \times 231 = 7(\text{dL}) \rightarrow \underline{700\text{mL}}$
- (13) 0と9のカードは必ず一の位に使うので、  
 $\square 0, \square 9, \square \square$ と分かる。  
 残りのカードは3, 4, 5, 6で、 $\square 9$ にあてはまるものは49のみ。  
 よって、 $\square 0$ にあてはまるものは30と分かる。  
 残りのカードは5, 6で、作ることができるのは56。  
 よって、 $49 + 30 + 56 = \underline{135}$

2

- (1)  $1000 - 400 = \underline{600(\text{円})}$
- (2)  $\text{アメ} \times 3 + \text{チョコ} \times 7 = 1000(\text{円})$   
 $\text{アメ} \times 7 + \text{チョコ} \times 3 = 600(\text{円})$   
 $\text{アメ} \times 10 + \text{チョコ} \times 10 = 1000 + 600 = \underline{1600(\text{円})}$
- (3) (2)より、アメ1個とチョコ1個を買うと、  
 $1600 \div 10 = 160(\text{円})$   
 アメ3個とチョコ3個を買うと、  
 $160 \times 3 = 480(\text{円})$   
 $1000 - 480 = 520(\text{円}) \cdots \text{チョコ} 4\text{個の値段}$   
 $520 \div 4 = \underline{130(\text{円})} \cdots \text{チョコ} 1\text{個の値段}$

3

- (1) 書き出して調べていく。  
 1, 2, 3, 11, 12, 13, 21, 22, 23, 31, 32, 33, 111  
 より、13番目。
- (2)  $1\square\square$ の $\square\square$ にあてはまるのは、(1)で書き出した11から33までの9個。  
 $2\square\square$ も $3\square\square$ も $1\square\square$ と同様に9個ずつあるので、3けたの数は、 $9 \times 3 = \underline{27(\text{個})}$
- (3) 1けたの数が3個、2けたの数が9個、3けたの数が27個あるので、ここまでは、 $3 + 9 + 27 = 39(\text{個})$   
 $1\square\square$ の $\square\square$ にあてはまるのは11から33までの9個。  
 $12\square$ が3個、 $122\square$ も3個、その次が1231。  
 よって、 $39 + 9 + 3 + 3 + 1 = \underline{55(\text{番目})}$

4

- (1) 曜日ごとの貯金のおうすをまとめると下のようになる。
- | 月    | 火    | 水 | 木    | 金    | 土    | 日    |
|------|------|---|------|------|------|------|
| +200 | +300 | 0 | +300 | +200 | -100 | -100 |
- 1週間でたまる金がかくは、  
 $200 \times 2 + 300 \times 2 - 100 \times 2 = 800(\text{円})$   
 1月19日の午前10時には、その日の貯金はまだなので、貯金箱の中身は800円。
- (2) 3週目の金曜日の正午までなので、2週間分と月曜から金曜までの分を貯金する。  
 $800 \times 2 + 200 + 300 + 300 + 200 = \underline{2600(\text{円})}$
- (3)  $4000 \div 800 = 5(\text{週間})$ 後には4000円になっているが、土日はお金を使っているの、それよりも前に4000円になるときがある。  
 4週間で、 $800 \times 4 = 3200(\text{円})$   
 月曜、火曜、木曜で、 $200 + 300 + 300 = 800(\text{円})$   
 よってはじめて4000円になるのは、5週目の木曜。  
 $7 \times 4 + 3 = 31(\text{日後})$   
 1月12日 + 31日 = 2月12日

5

- (1) 1辺が1mの正方形をぬるのに必要なペンキの量から、直径が1mの円をぬるのに必要なペンキの量を引けばよい。  
 $200 - 157 = \underline{43(\text{mL})}$
- (2) ぬる面は、直径が1mの球の表面の半分と、切り口である直径が1mの円。  
 球の表面の半分かをぬるのに必要なペンキの量は、  
 $628 \div 2 = 314(\text{mL})$   
 よって、 $314 + 157 = \underline{471(\text{mL})}$
- (3) 1辺が1mの正方形6枚からなる立体の表面すべてをぬるのに必要なペンキの量は、 $200 \times 6 = 1200(\text{mL})$   
 この立体と、球の半分がかくついている面は、直径が1mの円の半分。  
 くっつけた面とくっつけられた面で、円の半分の2倍分はペンキをぬらなくてよいので、  
 $1200 + 471 - 157 \div 2 \times 2 = \underline{1514(\text{mL})}$

配点：各4点  $\times$  25  
 ㊦(11)；完答